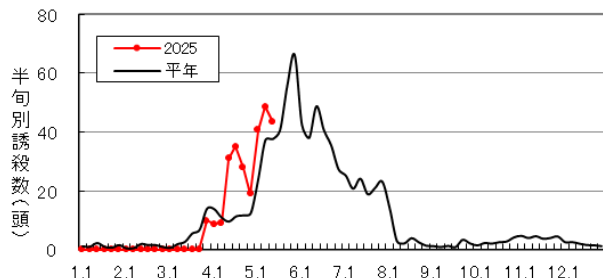


コナガ、シロイチモジヨトウの発生状況に注意してください

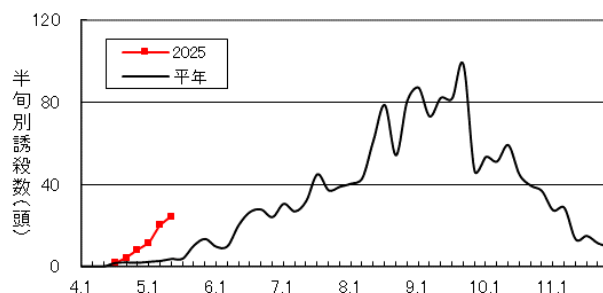
コナガとシロイチモジヨトウがフェロモントラップで多数誘殺されています。今後キャベツやダイコンなどのアブラナ科野菜ではコナガの被害が、ネギ、アスパラガスおよび花き類ではシロイチモジヨトウの被害が増加することが懸念されます。このため、圃場での発生状況をよく確認し、発生を認めたら防除を徹底してください。

1. 発生状況

- 1) 綾歌郡綾川町のコナガフェロモントラップにおける4月第1半旬から5月第3半旬までの合計誘殺数は、263.8頭（平年167.9頭）で、平年に比べて多かった。特に4月第3半旬から第5半旬の誘殺数が著しく多かった（第1図）。
- 2) 綾歌郡綾川町のシロイチモジヨトウフェロモントラップにおける4月第4半旬から5月第3半旬までの合計誘殺数は、70頭（平年17.3頭）で、平年に比べて多かった（第2図）。



第1図 コナガのフェロモントラップ
誘殺数の推移（綾歌郡綾川町）



第2図 シロイチモジヨトウのフェロモン
トラップ誘殺数の推移（綾歌郡綾川町）

2. 防除対策

- 1) コナガやシロイチモジヨトウは多くの薬剤に対して抵抗性が発達した事例があり、特に中齢から老齢幼虫は薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期の防除を徹底する。
- 2) 薬剤抵抗性を発達させないため、同一系統薬剤の連用は避ける。
- 3) ハウスの場合は開口部を防虫ネット（4mm目合以下）で被覆し、シロイチモジヨトウ成虫の侵入を防止する。
- 4) 防除薬剤は香川県主要病害虫・雑草防除指針、地域の防除暦等を参考に選定する。
- 5) シロイチモジヨトウに対しては薬剤感受性検定結果を参考にして薬剤を選定する〔病害虫防除所発表の防除に関する情報〕

(<https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichubojyo/byogaichu/boujo.html>)。



写真1 コナガ成虫 (体長約 1 cm)



写真2 コナガ老齢幼虫
(体長約 1 cm)



写真3 シロイチモジヨ
トウ卵塊 (長さ：約 1 cm)



写真4 葉身内を加害さ
れたネギ



写真5 ネギ葉身を加害す
る老齢幼虫 (体長：約 3 cm)

- ・住宅地等に接した地域及び広範囲に防除する場合は、散布する前に付近住民などに周知するとともに、飛散しにくい農薬を使用するようにしましょう。
- ・農薬散布は、無風又は風が弱いときに行うなど、近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選び、風向き、ノズルの向き等に注意して飛散防止を心がけましょう。

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう

病虫害防除所 インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

